



令和4年度 学校経営方針 大田区立大森第一小学校

大田区教育委員会教育目標

- 「意欲をもって自ら学び、考え、行動する人」
- 「思いやりと規範意識をもち、社会の一員としての役割を果たす人」
- 「自らの可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人」

学校教育目標

- 自らよく考え、行動する子
- 思いやりがあり、仲良く助け合う子
- 健康で安全な生活ができる子

学習指導要領が示す3つの資質

- 生きて働く知識・技能
- 未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力
- 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性

- 一人一人の子どもが生き生きと学校生活を楽しめる学校
- 家庭・地域との連携を大切にし、信頼される学校

目指す学校像

- 教職員が共に学び合う学校
- 地域に愛着と誇りをもち、地域に主体的に関わる児童が育つ学校

◆学力向上(基礎基本の定着と未来を見据えた学習活動の推進)

1. 基礎基本の定着
 - ・算数での習熟度別学習指導
 - ・補習教室の充実(土曜補習 放課後補習教室)
 - ・ぐんぐんタイム(始業前 漢字、計算等)
 - ・大田区漢字検定(年2回実施)
 - ・家庭学習の習慣化
 - ・学校図書館の充実・読書活動を推進する。
2. 主体的、対話的で深い学びの実現(学ぶ楽しさの実感)
 - ・問題解決的な授業の実践
 - ・学びのICT化で新しい学びの構築を推進(タブレット端末の活用)
 - ・プログラミング教育の推進(論理的思考力の育成)
 - ・校内研究「問題解決的な学習の充実を図る指導の工夫」
～理科、生活科の考察場面の指導を通して～
3. 各種支援員や講師を活用し、児童の学習を支援
 - 学習指導講師 理科支援員 読書学習司書 体育指導補助員 学校特別支援員 ICTサポーター
 - ・外国語活動を推進し、外国語でのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成
 - ・体験的な学習や専門家による出張授業を行い、実感が伴った学習を推進
 - ・これからの社会を担う児童のキャリア教育の推進(キャリアパスポート)

◆教育環境の向上

- ・研究、研修による教職員の指導力の向上、
- ・OJTを推進し自ら専門職としての資質向上
- ・区内研究推進校の研究発表会への全員参加 ・大田区学習効果測定をもとにした「授業改善推進プラン」を作成と実践
- ・特別支援教室巡回教員との連携
- ・働き方改革の推進 ・サービスの厳正 ・公務員としての自覚
- ・学校事務の適正な執行

◆豊かな心を育み、一人一人が安心して過ごせる学校

1. いじめや不登校への未然防止、早期発見、早期解決(校内委員会の充実)
 - ・いじめ防止基本計画の改定 ・アンケート調査や面談の実施
 - ・不登校対策年間計画
 - ・全教育活動を通し、自己肯定感、有用感を高める。
 - ・きめ細かい児童理解(年2回の学級集団調査 QU調査、学校生活調査)
 - ・スクールカウンセラーとの全員面談(5年生)、巡回心理士の活用
2. 特別支援教育の充実
 - ・教育相談の充実(サポートルーム、特別支援教室専門員、特別支援コーディネーター、スクールカウンセラーとの連携)
 - ・タブレット端末を活用した学びの保証
 - ・副籍児童との交流
3. 道徳・人権教育の充実
 - ・「特別な教科 道徳」を中心とした道徳教育を実施(道徳授業地区公開講座の実施)
 - ・人権教育プログラム、人権教育年間計画等を基に、全教育活動で人権教育を実施
4. より良い人間関係の構築
 - ・自他の個性を尊重し互いに認め励まし合う学習環境作り。言語環境の改善
 - ・情報機器を正しく安全に使用(SNSルール)
 - ・「学校のきまり」を全教員が共通理解し児童の指導に当たる。
5. 安全と防犯
 - ・セーフティ教室、交通安全教室、自転車教室の実施
 - ・避難訓練の各月実施
 - ・危機管理体制の整備、事故の未然防止
 - ・安全指導、避難訓練(災害対応、集団下校、津波訓練、不審者訓練、引き渡し訓練)、施設設備の点検による校内の安全の確保
 - ・学校給食での「安全な給食」の実施(食物アレルギー対応)

◆体力の向上・健康の増進(自らの健康を維持できる知識や技能を身に付ける)

- ・「一校一取組」運動の実施
長縄 大スポーツラリー ランニングタイム 短縄とびタイム
- ・体力テストの実施(課題のある運動への取組を工夫)
- ・オリンピック・パラリンピック教育(学校レガシー)を通して、ボランティアマインド、障がい者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚の資質の育成をする。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」を通じた、基本的生活習慣の確立
- ・体育・健康教育授業地区公開講座の実施
- ・食育全体計画、年間計画を基に、栄養バランスや食物に関する知識を学ぶ機会を設ける。
- ・学校保健委員会の実施
- ・大田区小学生駅伝大会への取組

◆地域を生かした特色ある教育活動

1. 異学年交流
 - 縦割り班活動、兄弟学年清掃、異学年給食、誕生会給食(状況により実施の可否を決定)
2. 地域人材や地域素材を生かした大森の歴史、文化、環境を教材化した学習活動の推進
 - ・保幼小の連携
 - ・近隣施設、ゲストティーチャーを活用した生活科、総合的な学習の計画
 - ・大森の伝統「海苔付け体験」・町工場や大田区の伝統工芸等のものづくり
3. 学校・家庭・地域が一体となって共に進める教育
 - ・地域教育連絡協議会の開催(コミュニティスクールに向けた取組)・自己評価報告書の評価・地域と学校との情報共有
 - ・保護者評価や授業アンケートの実施
 - ・学校支援地域本部「スクールサポート大1」と連携し、地域の力を有効に活用した教育活動を展開
 - ・学校防災活動拠点として、地域や保護者と協働した防災活動
 - ・学校日より、HP、学級通信等での教育活動の紹介(家庭や地域の教育活動への理解を深める)
 - ・夏休みワクワクサマースクールの開催・地域行事への金管バンドの参加
 - ・地域行事への教職員の参加
4. 持続可能な社会のための教育(ESD)教育
 - ・持続可能な社会の実現に向け、主体的に関わり、実践する態度の育成